

# スワップ金利による 投資の魅力と注意点

FXでできる、外貨預金より効率の  
良い投資とは？

# スワップ金利とは？

- スワップ金利とは外貨預金でいう利息のようなもの
- FXでは通貨と通貨の金利差のことをいう

# スワップ金利とは？

- 外貨預金の利息の場合
  - 豪ドルを外貨預金すると、豪ドルの金利が受け取れる
- スワップ金利の場合
  - 豪ドル円を買うと、豪ドル円の金利から円の金利を引いた分の金利が受け取れる

# FXでの2種類の利益の上げ方

1. キャピタルゲイン
2. インカムゲイン

# キャピタルゲインとは

- 投資対象を売買することで得られる利益のこと
- 株の場合
  - 投資資金で購入した株式を売却することで得られる利益
- FXの場合
  - 投資資金で購入した通貨ペアを決済することで得られる利益

# インカムゲインとは

- 投資対象を保有していることで得られる二次的な利益のこと
- 株の場合
  - 配当
- FXの場合
  - スワップ金利

# インカムゲインのメリット、デメリット

- メリット
  - 投資商品の価格に関係なく発生する
- デメリット
  - 投資商品の価格変動によっては大きな損失となる場合もある

# 外貨預金とFXによる投資の違い

- 外貨預金の場合

1. 運用に必要な資金

- 預金する外貨と同額になる金額

2. メリット

- 預金した外貨の価格が0にならない限り保持が可能
- 預金した外貨の金利がそのまま受け取れる

3. デメリット

- 定期預金になる場合が多く資金を自由に動かしにくい
- ペイオフの対象外

# 外貨預金とFXによる投資の違い

## • FXの場合

### 1. 運用に必要な資金

- ・証拠金取引のため資金の25倍までの取引が可能(レバレッジ)。

### 2. メリット

- ・レバレッジにより資金の運用効率が高められる
- ・スワップ金利は毎日積算され、それを資金にした取引が可能
- ・信託保全による預託金の保護

### 3. デメリット

- ・証拠金取引のため取引した通貨ペアの価格変動によってはロスカットされることもある
- ・スワップ金利は取引した通貨ペアの金利差となる
  - 例えば豪ドル円の場合だと日本の政策金利が上昇すると外貨預金よりも金利が低くなる
  - ※ゼロ金利政策により現在はデメリットにはならない

# なぜ今スワップ金利による 投資狙いなのか

- マイナス金利政策により円を売って外貨を購入する取引なら外貨預金とほぼ同じ金利が受け取れる
- レバレッジを有効活用することで資金効率があげられる
- いつでも決済できるので状況に合わせて資金を有効活用できる
- ペイオフ対象外の外貨預金と違い預託金が信託保全で保護されておりより安全

# 現在受け取れるスワップ金利

	1日	1か月(30日)	3か月(90日)	半年(180日)	1年(365日)
1万通貨	50円	1,500円	4,500円	9,000円	18,250円
3万通貨	150円	4,500円	13,500円	27,000円	54,750円
5万通貨	250円	7,500円	22,500円	45,000円	91,250円
7万通貨	350円	10,500円	31,500円	63,000円	127,750円
10万通貨	500円	15,000円	45,000円	90,000円	182,500円
15万通貨	750円	22,500円	67,500円	135,000円	273,750円

豪ドル円の10000通貨のスワップ金利が約50円の場合

# 外貨預金とFX取引の違い (スワップ金利)

計算例:

通貨ペア: 豪ドル円=84円 運用額: 1万通貨

金利: 豪ドル=2% 円=0% 金利差: 2%

---

- 外貨預金の金利

$$84円 \times 10,000 \times 2\% = 16,800円(年)$$

- スワップ金利

$$84円 \times 10,000 \times (2\% - 0\%) = 16,800円(年)$$
$$\div 365日 \doteq 46円(日)$$

# 外貨預金とFX取引の違い (運用資金)

計算例:

1通貨ペア=100円の場合

---

- 外貨預金

1万通貨 →  $100\text{円} \times 10,000 = 1,000,000\text{円}$

- FX取引

レバレッジにより25倍までの取引が可能

⇒4%の資金で取引可能

1万通貨 →  $100\text{円} \times 10,000 \times 4\% = 40,000\text{円}$

⇒1,000,000円で最大25万通貨の取引が可能

# FX取引の場合のロスカットについて

計算例:

1通貨ペア=100円で運用資金が100万円の場合

- 1万通貨購入の場合

$$10,000\text{通貨} \times 100\text{円} \div 1,000,000\text{円} = 1(1\text{倍})$$

$$1,000,000\text{円} \div 10,000\text{通貨} = 100\text{円}$$

- 20万通貨購入の場合

$$200,000\text{通貨} \times 100\text{円} \div 1,000,000\text{円} = 20(20\text{倍})$$

$$1,000,000\text{円} \div 200,000\text{通貨} = 5\text{円}$$

※実際には証券会社が定める有効比率があるため  
もっと少ない金額でロスカットされる

# FX取引によるスワップ金利目的の 投資を行う際のポイント

- レバレッジを積極的に活用して資金効率とリスクをコントロールする
  - ローリスク・ローリターンを狙うかハイリスク・ハイリターンを狙うかを相場の状況などを基に積極的に管理する

# 豪ドル円でのスワップ金利目的の 投資例



# 豪ドル円でのスワップ金利目的の 投資例

例) 運用資金100万円、84円で購入(スワップ約50円)

---

- ローリスクで長期運用を目指す場合

- 過去最安値の55円までの下落に耐えられるように資金管理することでロスカットされることを避ける
- $84円 - 55円 = 29円$  (最大下落幅)
- $1,000,000円 \div 29円 \div 30000$ 万通貨で運用(レバレッジ約2.5倍)
- 証拠金: 約100,000円 取引余力: 約900,000円
- 得られるスワップ金利  
1日: 約150円 1か月: 約4,500円 1年: 約55,000円
- 相場が上昇し始めと判断した場合、ややリスクを取って買い増しても良いが、あくまでも長期運用が目的のため84円辺りまで下がってきたら買い増したポジションは決済する

# 豪ドル円でのスワップ金利目的の 投資例

例) 運用資金100万円 84円で購入 金利約50円

- ややリスクを取って積極運用を目指す場合(1)
  - チャートを見ると2010年以降は72~73円で戻されていることが多いため、70円を下落目途と考えて資金管理する
  - $84円 - 70円 = 14円$  (最大下落幅)
  - $1,000,000円 \div 14円 \div 70000$ 通貨での運用(レバレッジ約6倍)
  - 証拠金: 約240,000円 取引余力: 760,000円
  - 得られるスワップ金利  
1日: 約350円 1か月: 約11,000円 1年: 約128,000円

# 豪ドル円でのスワップ金利目的の 投資例

例) 運用資金100万円 84円で購入 金利約50円

---

- ややリスクを取って積極運用を目指す場合(2)
  - レバレッジは約6倍とそこまでリスクは高くはないが価格下落のリスクは慎重に考慮する。
  - チャートを見ると過去3年で79円を割り込んだのは一度だけ。  
⇒79円を割ったらポジションの一部・あるいは全部を決済するという考え方もある
    - ・79円で全決済した場合の損失額: 約350,000円
    - ・74円で全決済した場合の損失額: 約700,000円
    - ⇒79円で3万通貨を分割決済した場合: 550,000円
  - 相場が上昇し始めたと判断した場合、積極的にリスクを取って買い増す。ただし、あくまでもスワップ金利目的なので84円辺りまで下がった場合には買い増したポジションは決済する

# 投資家Aさんの実践例 (リーマンショックまで)

- 基本的な考え方

購入通貨ペアは豪ドル円。スワップ狙いで低レバレッジのベースポジションを長期保有しながら、中期的にポジションを増減させて資金効率を上げる。チャートは週足と月足で判断。

1. 2003年4月にベースポジションとして73円で3万通貨購入。55円にストップを入れる(下落幅18円)
2. 2006年11月に91円で2万通貨追加購入。ストップは82円(下落幅9円)
3. リーマンショックによる下落で2008年9月中旬に追加した2万通貨がロスカットされる。  
スワップ金利(約22か月分):約21万円 決済損益:約-18万円
4. この少し後でベースポジションのロスカットを64円に上げるも直後にロスカットされる  
スワップ金利(約66か月分):78万円 決済損益:約-27万円

# 投資家Aさんの実践例 (リーマンショック後)

1. 2009年の2月以降3か月連続で陽線をつけたため同5月にベースポジションとして73円で3万通貨を再度購入。ストップは55円(下落幅18円)  
※このポジションはストップを70円に上げて現在も継続中  
(スワップ金利:約54万円)
  2. 2012年6月に79円で2万通貨追加購入。ストップは70円(下落幅9円)
  3. 一時100円を超えるも抜けきらずに下がってきたため追加分を2013年5月に98円で手仕舞い  
スワップ金利(約13か月分):約5万円 決済損益:約38万円
- 2016年3月末までのトータル収益  
スワップ金利:158万円 決済損益:約-7万円  
※スワップ金利は現在保有ポジション分も含みます

# スワップ金利目的の投資の際の リスク管理

- 投資である以上価格下落による損失の可能性は避けられないため常にリスクを管理することが重要
- ローリスクで長期運用を目指す場合
  - 効率の良い外貨預金的感覚で長期間保持することでスワップ金利を得ることを目的とするため、レバレッジは控えめにしてある程度の価格変動には耐えられるようにする
  - 市場がオープンしている限りいつでもポジションを持つことも決済することもできるというFXのメリットを生かすことも考慮に入れておく
- ややリスクを取って積極運用を目指す場合
  - レバレッジを高めに取りしている分、価格変動による損失幅が大きくなるため資金の20%以内といったふうに損失の許容額を決めておいた方がよい
  - 積極的に取引通貨数を増減することでチャンスではリスクを取り、ピンチではリスクを減らすようにコントロールする。特に価格が下がった場合には無理せず早めに取引通貨数を減らす事で損失を抑え、再度上がり始めたら買い増すといった管理を行うと良い
  - このタイプの運用ではキャピタルゲインも視野に入れたいが、リスク管理的に複雑になりやすいため慣れないうちはスワップ金利の投資とは別にした方がよい

※積極的にキャピタルゲインを狙う場合はスワップ金利狙いの投資ではなくFXトレードとしての勉強が必要。自分がやっていることが何なのかを理解しておくことが重要

# キャピタルゲインとインカムゲインとでの リスク管理の考え方の違い

- キャピタルゲインを狙ったトレードでのリスクの考え方
  - レバレッジを積極活用しロットを増やすことで利益を狙うため価格変動での損失も大きくなりがち
  - ↓
  - リスク管理には適切なロスカットとそれを基にした資金管理が重要
  - デイトレの場合一度のトレードでの損失は2~5%以内に抑えることが理想
- インカムゲインを狙った投資でのリスクの考え方
  - 長期運用によりスワップ金利を積み重ねることが目的のため損切りすること自体をリスクと考える
  - ↓
  - 出来る限り損切りしなくても済むように価格変動での損失を許容範囲に収める資金管理が重要
  - 価格変動にかかわらず損切りが必要でない運用が理想(特にローリスクで長期運用を目指す場合)

# スワップ金利目的の投資での注意点

- 証拠金取引なのでロスカットには常に注意
  - レバレッジをかけなければ外貨預金と同じ感覚での運用も可能
- スワップ金利はポジションを決済しないと現金化されない
  - 金利は毎日証拠金に加算されるので次の取引の証拠金としての運用は可能

### <リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、**FX**取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師(所属会社を含む。)は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

### <注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生の可能性があります。さらに、レバレッジ効果(想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み)や為替レートの変動等によって注文(ロスカット注文を含む)が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。特に、マイナー通貨(流動性の低い通貨)の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント(通貨間の金利差調整額)においては通貨ペアやポジションの状態(売りまたは買い)によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社(相対取引)となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号:**JFX**株式会社

業務内容:第一種金融商品取引業

登録番号:関東財務局長(金商)第**238**号

加入協会:金融先物取引業協会会員番号**1503**